

百人一首 ( 歌番号 : 21 ~ 25 )

名にし負はば  
 あふ坂山の  
 さねかつら  
 人に知られで  
 くるよしもがな  
 三條右大臣



ひとにしら  
 れでくるよ  
 しもがな

このたびは  
 幣も取りあへず  
 手向山  
 紅葉の錦  
 神のまにまに  
 菅家



もみじの  
 しきかみの  
 まにまに

月見れば  
 千々に物こそ  
 悲しけれ  
 わが身ひとつの  
 秋にはあらねど  
 大江千里



わがみひと  
 つのあきに  
 はあらねど

吹くからに  
 秋の草木の  
 しをるれば  
 むべ山風を  
 あらしといふらむ  
 文屋康秀



むべやまか  
 ぜをあらし  
 というらん

今来むと  
 いひしばかりに  
 長月の  
 有明の月を  
 待ち出でつるかな  
 素性法師



ありあけのつ  
 きをまちいで  
 つるかな